

審査の結果の要旨

氏名 川口英明

本研究は、急性心筋梗塞、腎不全、自殺の標準化死亡比(SMR)と医療資源の地理的関連性を明らかにするため、国内のデータに対して空間統計学的手法を用いた研究であり、下記の結果を得ている。

1. 急性心筋梗塞に関して、グローバルモデルである条件付き自己回帰(CAR)モデルで解析し、急性心筋梗塞 SMR と循環器内科医・循環器専門医数の関連は認められなかったが、冠動脈 CT 施設数との有意な負の関連が示された。ローカルモデルである地理的加重回帰モデルで解析し、急性心筋梗塞 SMR と循環器内科医・循環器専門医数の関連には地域差が存在することが示された。
2. 腎不全に関して、CAR モデルでは、腎不全 SMR と腎臓内科医・腎臓専門医の有無の関連は認められなかったが、透析専門医の有無・透析台数との有意な関連が示された。地理的加重回帰モデルを用い、腎不全 SMR と各医師の有無・透析台数との関連に地域差は存在しないことが示された。
3. 自殺に関して、CAR モデルでは、自殺 SMR と精神科医の有無の関連は認められず、地理的加重回帰モデルを用い、自殺 SMR と精神科医の有無の関連に地域差は存在しないことが示された。

以上、本論文は、空間統計学的手法を用いた解析から、上記 3 つの疾患において、医療資源である医師数、医療機器数と SMR との間には地理的関連性に差があることを明らかにした。本研究は、医療資源の地理的分布と疾患別死亡率の関連の解明に重要な貢献をなすと考えられ、学位の授与に値するものと考えられる。